

平成22年2月22日

イノベーション人材養成システム

第Ⅱ期（平成22年4月期）養成対象者を募集しました

広島大学若手研究人材養成センターでは、「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」第Ⅱ期（平成22年4月期）の養成対象者の募集を行いました。

この取り組みは、科学技術振興調整費イノベーション創出若手研究人材養成の補助事業で、博士課程後期の学生および若手研究員を対象にした新しい人材養成システムです。自身の専門に裏打ちされた幅広い知識と興味を持ち、新分野に挑戦する活力ある人材を、広島大学若手研究人材養成センターにおいて、中国四国地方の企業や研究機関、学会などと密接に連携しながら養成します。

第Ⅱ期養成対象者としての募集人員は、広島大学博士課程後期在学者5名程度および博士学位取得5年以内の者2名です。

被養成者は、「実践プログラム」（実務キャリア、英語コミュニケーション、MOT教育、融合領域研究、異分野研究支援、企業派遣の各プログラム）を受講します。取得単位や取り組み実績は、アチーブメントカードシステムにより一元管理され、それに基づく指導・助言を受けます。

選考された場合、博士課程後期在学者は企業派遣プログラム期間中、博士学位取得研究者は養成期間の1年間（最長1年間）それぞれ給与が支給されます。

【お問い合わせ先】

若手研究人材養成センター

担当 野田

TEL:082-424-6213、FAX:082-424-6204

広島大学 若手研究人材養成センター
イノベーション人材養成システム
第Ⅱ期(平成22年4月期)募集要項

2010年1月



1. 本取組の概要

本取組は、博士課程後期の学生及び若手博士研究員を対象とした新しい人材養成システムです。自身の専門に裏打ちされた幅広い知識と興味をもち、新分野に挑戦する活力ある人材を、広島大学若手研究人材養成センターにおいて、中国四国地方の企業や研究機関、学会等と密接に連携しながら養成します。

被養成者は、「実践プログラム」(実務キャリア、英語コミュニケーション、MOT 教育、融合領域研究、異分野研究支援、企業派遣の各プログラム)を受講します。修得単位や取組み実績は、アチーブメントカードシステムにより一元管理され、それに基づく指導・助言を受けます。自身の専門をしっかりとったうえで、幅広く自身の将来を考えている若手研究者(もちろん男女とも)の参画を期待しています。

 本取組みは、振興調整費平成 21 年度科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」の補助事業です。

2. 募集対象者

- ・本学の博士課程後期在学者
- ・博士学位取得後 5 年以内の研究者

3. 募集人員

- ・本学の博士課程後期在学者 5 名程度
 - ・博士学位取得後 5 年以内の研究者 2 名
- (2010 年 3 月末までに取得見込みの者を含む)

4. 応募要件

- ・国内外の企業において、通算 3 ヶ月以上のインターンシップ(研究や技術開発の現地経験)に従事すること
- ・自身の専門だけでなく、幅広い知識や基本的技術をもつことに積極的であること
- ・博士課程後期在学者の場合は、博士論文を提出するために必要な研究のほかに、本養成計画に取組む強い意志を有すること

5. 選考方法

(1) 博士課程後期在学者

- ・口述による選考 (自身のこれまでの研究内容、および、企業でのインターンシップで希望する研究内容について 15 分の口頭発表の後、質疑応答。英語による口頭試問。)

(2) 博士学位取得研究者

- ・口述による選考 (これまでの研究内容、および、異分野研究提案について 20 分の口頭発表の後、質疑応答。英語による口頭試問。)

6. 選考の日程等

- ・日時: 2010年3月2日(火)
- ・選考室: 広島大学東広島キャンパス内

集合時間, 選考開始時間等は, 別途応募申請書記載の e-mail の宛先に送付します。

選考の前日(3月1日)正午までに送付されない場合は, 7.(3)に問い合わせてください。

7. 応募方法

(1) 必要書類

- ・応募申請書(所定の様式) 1部
- ・指導教員の推薦書(所定の様式) 1部
- ・定形返信用封筒 1部

(合否の通知に用いる。応募者の宛先を明記し, 80円の返信用切手を貼付すること)

(2) 応募申請書の締め切り日

平成22年2月22日(月)15:00 必着 (電子メール可。指導教員の推薦書が間に合わない場合は(3)に問い合わせること)

(3) 提出先

〒739-8512 東広島市鏡山一丁目2番2号

広島大学 若手研究人材養成センター (中央図書館 B1F 担当:野田・谷川)

Tel: 082-424-6213

Fax: 082-424-6204

e-mail: wakateyousei@office.hiroshima-u.ac.jp

8. 受験票の交付

若手研究人材養成センターに応募申請書を持参した者には, その場で受験票を交付します。それ以外の者には, 受験票を応募申請書記載の e-mail の宛先に送付します。選考の前日(3月1日)正午までに送付されない場合は, 7.(3)に問い合わせてください。

9. 選考当日に持参するもの

- (1) 受験票
- (2) 写真入り身分証明書(学生証, 運転免許証等)

10. 選考結果発表

日時: 2010年3月8日(月) 15:00 (予定)

方法: 被養成候補者の受験番号を, ホームページに公開します。

URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/wakateyousei/>

選考結果は口述による選考を行った全員に通知します。

※やむを得ない事由により辞退する場合は, 3月12日(金)15:00までに, 7.(3)に連絡すること。

11. 選考された場合の養成期間

平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日 の 1 年間

但し、上記期間内であっても、就職が確定した場合は養成期間を終了する場合があります。

12. 選考された場合の待遇

(1) 博士課程後期在学者

①給与

企業派遣プログラム期間(インターンシップ期間)非常勤職員(リサーチ・アシスタント(1時間あたり1200円))として雇用し、広島大学非常勤職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則に基づき月 10 万円程度を支給します。通勤手当, 賞与, 退職手当等, その他の手当等の支給はしません。

②社会保険等

非常勤職員(リサーチ・アシスタント)として雇用されている期間、労災保険に加入します。健康保険、厚生年金保険及び雇用保険は適用しません。

③企業派遣プログラム先企業(インターンシップ先企業)への交通費等

本学の規程等に基づき交通費または旅費を支給します。
※移動手段、距離によっては支給しない場合があります。

(2) 博士学位取得研究者

①給与

養成期間の 1 年間を研究員として雇用し、広島大学教育研究系契約職員の任免・給与及び労働時間・休日・休暇に関する規則に基づき月 33 万円を支給します。通勤手当, 賞与, 退職手当等, その他の手当等の支給はしません。

②社会保険等

文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入します。

③企業派遣プログラム先企業(インターンシップ先企業)への交通費等

※移動手段、距離によっては支給しない場合があります。

13. 問い合わせ先

若手研究人材養成センター 副センター長 相田美砂子

電話番号、電子メールアドレスは、7(3)の応募書類提出先と同じ

14. その他

(1) 本取組は、文部科学省科学技術振興調整費「イノベーション創出若手研究人材養成」の補助事業です。

(2) インターンシップ先は、連携企業として本学と覚書等を締結した企業等です。

**科学技術振興調整費イノベーション創出若手研究人材養成
「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」
第Ⅱ期(平成 22 年 4 月期)養成対象者(博士課程後期学生)応募申請書**

1. 履歴等

フリガナ 氏 名		生年 月 日	昭和 年 月 日生(男・女)	博士課程後期 年
現住所	〒 電話番号:() - e-mail: 学内連絡先電話番号:			
学歴	1.昭和・平成 年 月 _____ 大学 _____ 学部 _____ 学科卒 2.昭和・平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 研究科博士課程前期 _____ 専攻入学 3.昭和・平成 年 月 _____ 大学大学院 _____ 研究科博士課程後期 _____ 専攻進学 4.平成 年 月 博士学位取得見込み			
現在受給している助成等の有無等	有・無	具体的な助成等名(学振特別研究員, RA, TA など)		

2. 実践プログラム履修に対する抱負(次の 4 項目を中心に 2,000 字以内で記述)

- ①実務コアコース, イノベーション研究コースで身につけたい技術や知識について
- ②希望する企業派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野
- ③企業派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④博士課程修了後のキャリアパスについて

3. 現在の研究内容(1,000 字程度)

4. 研究業績(学術雑誌等に発表した論文(査読の有無を記すこと), 学会発表(国内学会と国際学会を分けて記すこと), 特許等知的財産, その他)

5. これまでの, 企業等との共同研究やインターンシップの実績

※既に, 企業等との共同研究に従事している場合(予定を含む)は, 相手先およびその内容について記述してください。(秘密事項に注意)

※フォーマットは, 適宜変更可。複数ページになる場合は, 両面印刷して提出すること。

※必ずしも希望通りの企業で企業派遣プログラム(インターンシップ)を行えるとは限りません。

平成 年 月 日

推薦書

「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組みの被養成者(博士課程後期学生)の候補者として推薦します。

推薦順位: 位(名のうち)

なお、上記被推薦者が被養成者として選抜された場合、メンター教員として指導が、

()可能。

()不可能。(理由:)

所属部局・専攻
職・氏名
連絡先(電話・e-mail)

印

※記入上の注意

・推薦順位について

複数の博士課程後期学生を推薦した場合は、それぞれの推薦順位を必ず記入してください。同じ順位はつけないでください。

・本推薦書は密封して提出してください。

**科学技術振興調整費イノベーション創出若手研究人材養成
「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」
第Ⅱ期(平成22年4月期)養成対象者(博士学位取得者)応募申請書**

1. 履歴等

フリガナ 氏 名		生年 月 日	昭和 年 月 日生 (男・女)
現住所	〒 電話番号：() — e-mail： 上記以外の電話番号：		
学 歴	1.昭和・平成 年 月 _____大学 _____学部 _____学科卒 2.昭和・平成 年 月 _____大学大学院 _____研究科博士課程前期 _____専攻入学 3.昭和・平成 年 月 _____大学大学院 _____研究科博士後期課程 _____専攻進学 4.平成 年 月 博士学位取得		
研究歴	1.平成 年 月 2.平成 年 月		
現 職	現在の雇用関係について記して下さい		

2. 実践プログラム履修に対する抱負(次の4項目を中心に2,000字以内で記述)

- ①実務コアコース、イノベーション研究コースで身につけたい技術や知識について
- ②希望する企業派遣プログラム先(インターンシップ先)または分野
- ③企業派遣プログラム(インターンシップ)で身につけたい技術や知識について
- ④博士課程修了後のキャリアパスについて

3. 現在の研究状況(研究内容を中心に、1,000字程度で記述)

4. 研究業績(学術雑誌等に発表した論文(査読の有無を記すこと)、学会発表(国内学会と国際学会を分けて記すこと)、特許等知的財産、その他)

5. これまでの、企業等との共同研究やインターンシップの実績

※既に、企業等との共同研究に従事している場合(予定を含む)は、相手先およびその内容について記述してください。(秘密事項に注意)

※ フォーマットは、適宜変更可。複数ページになる場合は、両面印刷して提出すること。

※ 必ずしも希望通りの企業で企業派遣プログラム(インターンシップ)を行えるとは限りません。

平成 年 月 日

推 薦 書

「地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画」の趣旨を理解し、

(応募者の氏名)

を、本取組みの被養成者(博士学位取得者)の候補者として推薦します。

推薦順位: 位(名のうち)

なお、上記被推薦者が被養成者として選抜された場合、メンター教員として指導が、

()可能

()不可能 (理由:)

所属大学・部局・専攻
職・氏名
連絡先(電話・e-mail)

㊞

※記入上の注意

・推薦順位について

複数の博士学位取得者を推薦した場合は、それぞれの推薦順位を必ず記入してください。同じ順位はつけないでください。

・本推薦書は密封して提出してください。